

# 佐賀大学医学部附属病院 放射線部

診療放射線技師長 北村 茂利

## 【施設紹介】

佐賀大学医学部附属病院は『患者・医療人に選ばれる病院を目指して』という病院理念と、「地域医療への貢献」、「良き医療人の育成」、「高度医療技術の開発研究」という3つの病院目標を念頭に置いて、日々の診療に励んでいます。



## 【組織・体制】

令和4年9月現在、放射線部は、診療放射線技師が32名在籍しており、診療放射線技師長を中心に副診療放射線技師長2名、各部門の診療放射線係長7名、主任1名で組織の体制や人員管理を行っています。

## 【部門紹介】

一般撮影部門の特色として整形領域の撮影件数が多いことが挙げられます。特に股関節・膝関節の症例では全国各地から患者様が来院されるため、国内有数の検査数を誇っています。令和2年にすべての一般撮影装置がCRからFPDへ移行し、検査効率が格段に向上しました。また令和3年度にはマンモグラフィ装置の更新を行い、トモシンセシスも可能となり、今後、さらなる診断向上への寄与を期待されています。

造影部門は2台の造影検査汎用装置、1台のCアーム装置、1台の泌尿器専用装置の4台構成となっており、それぞれ機器の特徴を活かし検査を行っています。また、更新に伴い、画像向上、被ばく線量の低減が期待されます。様々な造影検査のなかで、診療放射線技師は主に小児泌尿器の検査に携わっております。

CT部門は、CT装置3台、救急部に1台、Ai-CT専用機1台を有しています。2管球CTや面検出器CT等装置の特徴を生かして、目的に応じて使い分けて検査を行っています。近年では、Dual Energy CTや高速2管球撮影などの特殊検査も行っています。1日に80～120件程度の検査数で、そのうちの半数が造影検査です。また、AZE・ziostation・AWの3社のワークステーションを活用し、画像処理にも力を入れています。

MRI 部門は 1.5 テスラ 1 台、3 テスラ 2 台の計 3 台を有しています。これらの MRI 装置では SyngoRESOLVE、syngoZOOMit、QISS 等の先端アプリケーションが使用可能です。1 日の検査数は 40～50 件で、3 割が造影検査です。心臓ペースメーカー等の条件付き MRI 対応デバイスについても、月に 5 件程度検査を行っています。また、現在では通常の検査に加え、様々な領域の治験や臨床研究に協力しています。

放射線治療部門では、令和 3 年 8 月から新規放射線治療システムによって運用開始しています。現システムの基本構成は、汎用型リニアックですが、令和 4 年度に高精度放射線治療に特化した O 型リニアックの導入予定です。加えて、RALS、治療計画用 CT、放射線治療計画装置も更新しており、現在順調に稼働しております。体幹部定位照射や頭頸部骨盤部の回転型強度変調放射線治療の件数も増加しており、地域のがん診療の拠点の役割を担っております。

核医学部門は現在ガンマカメラ 1 台、PET-CT 装置 1 台で稼働しています。令和 3 年度から CT 搭載型の SPECT 装置と、半導体検出器搭載型の PET-CT 装置が稼働しています。

SPECT 検査、PET 検査ともにそれぞれ年間 1000 件前後行っており、総件数は少ないですが幅広く多岐にわたって検査を行っています。SPECT 検査に関しては、特に近年は血管性病変に対する脳血流検査や認知症の診断に大きく貢献しています。PET 検査に関しても、悪性腫瘍や大血管炎、心サルコイドーシスに対応した検査を行っています。

心臓カテーテル部門は現在、バイプレーンタイプであるフラットパネルサイズの異なる機種を導入し、使い分けることで全身の検査が可能です。特に心臓領域では心臓部に密着させることで最適な画像を提供することができます。近年では不整脈部門にも力を入れており、アブレーションの件数が年々増加しています。また、心房内生検を行うことで病理学的に不整脈の診断・治療を行うという日本初の試みがなされています。

血管造影・IVR 部門は、放射線部内に IVR-CT 装置、手術部内には Hybrid 手術室として万能手術台と組み合わせた多軸血管撮影装置を有しており、2022 年 4 月には新たな Hybrid 手術室としてバイプレーン血管撮影装置が導入されました。IVR-CT 室では主に放射線科による各種血管塞栓術の他、CT(または CBCT)ガイド下生検やドレナージ等を行っています。Hybrid 手術室では心臓血管外科による経カテーテル大動脈弁留置術やステントグラフト内挿術、脳神経外科による頸動脈ステント留置術、動脈瘤のコイル塞栓術や腫瘍塞栓術、循環器内科による全身麻酔下でのアブレーション等、様々な診療科の手技を行っています。

#### 【最後に】

佐賀県は、豊かな自然と都市機能がちょうどいい「暮らしやすさ日本一」の評価をいただいています。「暮らしやすさ」は、「働きやすさ」にも直結します。働きやすい佐賀大学附属病院で、働きがいを実感してみませんか。